

## ★ “おの100” について

### 【事業趣意書】

昨今の事件に見られる凶悪犯罪の低年齢化、また、青少年を巻き込む犯罪の多発、あるいは、教育界を取り巻く状況は、“国家百年の計”と言われる中であって、教育の原点である家庭における教育を再考する必要性に迫られています。

そして、少子化、核家族化の中で、より一層重要になってきた地域の教育力の回復に努め、家庭・学校・地域がしっかりと協働して、次世代の子どもたちの為に行動することが求められています。

また、地域主権の流れの中で『自分たちの地域（まち）は自分たちで創る』という意識を持って、私たち一人ひとりが何か出来るかを考え、行動を起こすことが必要です。

青少年健全育成を掲げて平成15年に始まった「おのみち100km 徒歩の旅」は多くの子どもたち、学生ボランティア、保護者の皆さまの支持を得て、更には、地域の方々のご理解・ご協力をいただき、ここまで回を重ねることができました。有り難うございました。

本年度も下記の通り、「第15回おの100挑戦隊～感動創造の旅～」として、実施させていただきます。

子どもたちは素晴らしい潜在能力を持っています。

自分たちの住んでいる地域を4泊5日を掛けて歩きぬくという実体験を通じて、少しでも「生きる力」を宿してもらいたいと思います。誇りある郷土に触れながら、忍耐力、積極的な行動、感謝の気持ち、出会いの素晴らしさ、夢を持つことの大切さ、自然との共生、挑戦する勇氣、等、多くのモノを体感し、さまざまな学び・気づきを得てもらいたいと思います。

ボランティアとして参加する学生にも、自分自身の学びを以って自分以外のものに貢献するという生涯学習「やりがい・生きがいの創造」を提起し、青少年問題の解決への一歩を踏み出したいと思います。

### 【事業趣旨】

- ① 青少年健全育成（体験学習）
- ② 生涯学習「やりがい・生きがいの創造」
- ③ 市民参加の「ひとづくり」
- ④ 地域コミュニティの活性化

### 【5日間の様子】

#### 《限界への挑戦》

夏の炎天下、毎年100名の子どもたちが、100km という長い道のりだけでなく、自分自身の限界に挑戦する、言わば限界への挑戦の旅に出発します。

最初は引っ込み思案な子どもも、3日目あたりからは班に溶け込み笑顔で歩きます。

足の痛みには耐え切れず遅れがちになる子どもも、4日目あたりから歯を食いしばって班の仲間と一緒に歩きます。

学生ボランティアが傍に付いていないと甘えて遅れ気味になる子どもも、4日目くらいから一人で歩くようになります。

そして、徐々に、高学年の子どもたちを中心に、中学年や体力・精神力の弱い子どもたちを励まし、指示を与え、自分たちだけで行動する姿が見られるようになります。

子どもたちの潜在能力の高さを再認識すると共に、子どもたちの限界を勝手に決めているのは私たち大人であることを痛感する5日間です。

#### 《非日常的な生活》

宿泊は、学校や公共施設の体育館。

日頃、エアコンの効いた快適な部屋で就寝する子どもたちにとっては、信じられない環境です。

当然、テレビもありません。また、日中飲むのは浄水器を通した“水”だけです。

冷蔵庫の冷えたジュースが当たり前の子どもたちには、まさに“非日常の連続”です。

しかし、そうした“できるだけ不自由な体験”を通して、子どもたちは感謝の念を覚えてくれます。

物質的に豊かな時代に育った子どもたちにとって、無いのが当たり前の旅は“有り難い”ことを体感する貴重な体験となり、自分を支えてくれる人や有形無形の物に対して、自然に感謝の言葉が出るようになってきます。

## ★保護者の皆さまへ

“親が変われば、子どもが変わる”

“おの100”は子どもだけを5日間参加させる事業ではありません。

参加小学生の保護者の方には、保護者説明会、保護者事前研修会、結団式、解団式、事業報告会の5つの行事に参加していただく必要があります。

子どもたちと共に保護者の方にも多くの学びや気づきを得ていただき、今後の子どもたちの成長を見守っていただきたいと思います。

共に感動し、共に成長しましょう！

## ★特定非営利活動法人おのみち寺子屋とは

NPOおのみち寺子屋は、

“一般の人々に対して、心を鍛え、使命感を持って謙虚に積極的に行動するための資質や能力を開発する事業を行い、もって、尾道のまちの発展に寄与することを目的”（定款）とし、

“社会教育の推進を図る活動”、“子どもの健全育成を図る活動”、“まちづくりの推進を図る活動”、を行っている団体です。

社団法人尾道青年会議所が立ち上げ、実行委員会が主催していた“おのみち100km徒歩の旅”を引き継いでいるほか、市民の皆さまの人間力向上のための養成講座や研修会の開催、講演会の企画・開催、講師派遣、等を展開しています。

また、2年前より小中学生を対象とした学習支援の事業をスタートさせ、大学生のボランティアが“できた！楽しい！やってみよう！”をスローガンに、学習のサポートだけではなく、自己肯定感の育みを目指して、Win-Winの関係を創りながら、次世代の子どもたちの成長に取り組んでいます。

※広島県教育委員会より、平成26年度広島県教育奨励賞をいただきました。

### ～ “おの100挑戦隊” を支えるボランティア～

“おの100挑戦隊”をサポートするのは、すべてボランティア（学生及び社会人）です。

子どもたちをサポートする学生ボランティアは、1月から毎月2回、トータル50時間以上に及ぶ“おの100プレリーダー養成”や“おの100支援塾”、そして、5月から毎週日曜日に100時間以上にも及ぶ“おの100リーダー養成”を受講し、感動創造の旅（本番（5日間））に備えます。

研修では、“おの100挑戦隊”に必要なスキルだけでなく、社会が求めるコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、シミュレーション能力といった能力開発に努め、21世紀が求める社会起業家精神や人間力を育てています。

最初の頃は義務感だけで行動している学生ボランティアも徐々に責任感を持つようになり、最後には使命感を持って行動するようになってくれます。

また、体験不足から自ら問題や課題を見つけることが出来なかったり、指示待ちであったりする学生ボランティアも集大成となる感動創造の旅では大きく変化し、大変たのしくなります。